

第7号

2004  
10.1

大館市・比内町・田代町合併協議会だより

# おおだて・ひない・たしろ



みんなで考えよう私たちの未来

新市の町名、字名が  
確認されました。



## 第8回協議会(8/24) 第9回協議会(9/14)での協議結果

協議案第20号 使用料、手数料等の取扱い

第7回、第8回、第9回協議会で協議されましたがまとまらず、次回への継続協議となりました。

- (1) 各市町で差異のない使用料及び手数料については、現行のとおりとする。
- (2) 各市町で差異のある各種施設の使用料については、施設の内容及び建設年度が異なること等から、当分の間、原則として現行のとおりとする。その他の使用料については、原則として統一に向け調整を図るものとする。
- (3) 各市町で差異のある手数料については、住民負担に配慮しつつ、負担の公平の原則により合併時に統一する。

協議案第21号 補助金、交付金等の取扱い

第7回、第8回協議会で協議され、次のとおり確認されました。

補助金、交付金等の取扱いについては、従来からの経緯や実情に配慮し、公共的必要性、有効性、公平性の観点から、次の方針を基本に調整する。

- (1) 各市町同一または同種の補助金、交付金等については、関係団体等の理解と協力を得て、統一の方向で調整する。
- (2) 各市町独自の補助金、交付金等については、制度の経緯や地域事情、従来からの実績を踏まえ、市域全体の均衡を保つよう調整する。

協議案第22号 町名・字名の取扱い

第7回、第9回協議会で協議され、次のとおり確認されました。

- (1) 大館市の区域内の町(字)の区域および名称は、現行のとおりとする。
- (2) 比内町の区域内の町(字)の区域は現行のとおりとし、名称は、現行の大字の前に「比内町」の名称を付ける。
- (3) 田代町の区域内の町(字)の区域および名称は、現行のとおりとする。

協議案第30号 合併の期日(再協議)

第8回協議会で次のとおり確認されました。

合併の期日は、平成17年6月20日とする。

協議案第31号 公共的団体等の取扱い

第8回協議会で次のとおり確認されました。次のとおり確認されました。

公共的団体等については、新市の速やかな一体性を確立するため、それぞれの事情を尊重しながら、そのあり方について調整に努める。

- (1) 共通の目的をもった団体については、できる限り合併時に統合できるよう調整に努める。
- (2) 統合に時間を要する団体については、将来の統合に向け検討が進められるよう調整に努める。
- (3) 独自の目的をもった団体については、原則として現行のとおりとする。

協議案第32号 介護保険事業の取扱い

第8回協議会、第9回協議会で協議され、次の

本案件は前回から継続協議となっていました。が、事務局から新たに「補助金の交付金等の決定に係る基本方針」の資料が提出され、協議の結果、原案どおり確認されました。

確認 協議案21号・補助金・交付金等の取扱いについて(継続協議)

使用料、手数料等の取扱いのうち、継続協議となっていた保育料について協議が行われましたが、結論は出ず、財政上の各種数値を整理した上で、再度継続協議することになりました。

継続協議 協議案20号・使用料・手数料等の取扱いについて(継続協議)

## 第8回協議会内容(8月24日)

第8回合併協議会が平成16年8月24日(火)田代町総合開発センター2階集議室で、第9回合併協議会が9月14日(火)秋北ホテル孔雀の間で開催され、合併の期日、町名・字名などが確認されました。

確認 協議案30号・合併の期日について

合併の期日については、第2回合併協議会平成17年4月9日において、「合併特例法の特例措置期限である平成17年3月31日までの合併を目指す。ただし法律が改正された場合は、改めて協議することを確認されていました。が、本年5月に法律が改正されたため再度協議することになっていました。

そのため、8月6日に1市2町の首長間で協議が行われ、合併の期日を平成17年6月20日とする案が提起されていました。

第8回協議会では、この6月20日案に対して1市2町の議会とも了承した旨の報告があり、本案件は原案どおり確認されました。

確認 協議案31号・公共的団体等の取扱いについて

原案どおり確認されました。

継続協議 協議案32号・介護保険事業の取扱いについて

第1号被保険者の保険料率は、平成17年度末

で現行どおりとし、平成18年度から統一、納期について

は合併時に大館市の制度に統一、介護保険料の減免については合併時に大館市の制度に統一、介護保険利用負担金の減免については合併時に大館市の制度に統一することを確認されました。なお、介護保険要介護認定訪問調査については、専門部会で、再度地域の実情を十分検討すること、継続協議となりました。

確認 協議案33号・行政区の取扱いについて

行政区については、現行のとおりとし、行政協力員については、現行の行政町内会単位を基本として、合併時に大館市の制度に統一するということの確認されましたが、行政協力員の職





務内容については、田代町の制度に統一してはどうかとの提案があり、異議はなく確認されました。

**確認 協議案34号・商工・観光事業の取扱いについて**  
原案どおり確認されました。

**確認 協議案35号・小・中学校の通学区の取扱いについて**  
通学区は現行どおりとするものの、地域要望等により必要に応じて新市において調整することを確認されました。また、雪沢小学校については、大館市の少人数学校の指定を受けており、保護者の申し出により、現行の通学区域以外からも入学できるようにしている旨の説明がありました。

### 第9回協議会内容（9月14日）

**報告第13号・大館市・比内町・田代町合併協議会スケジュールについて**  
合併の期日が平成17年6月20日に決定されたことを受けて、今後のスケジュールについて、次のとおり予定されていることが報告されました。

- とおり確認されました。
- (1) 介護保険認定審査会については、合併時に大館市に統合する。
  - (2) 第1号被保険者の保険料率については、平成17年度まで現行のとおりとし、平成18年度から統一する。
  - (3) 第1号被保険者の納期については、合併時に大館市の納期に統一する。
  - (4) 介護保険事業計画運営委員会については、合併時に大館市の制度に統合する。
  - (5) 介護保険事業計画については、平成17年度まで現行のとおりとし、平成18年度から統一する。
  - (6) 介護保険料の減免については、平成17年度まで現行のとおりとし、平成18年度から制度を再編する。
  - (7) 介護保険利用者負担金の減免については、合併時に大館市の制度に統一する。
  - (8) 介護保険要介護認定訪問調査については、平成18年度まで現行のとおりとし、平成19年度から大館市の制度に統一する。

#### 協議案第33号 行政区の取扱い

第8回協議会で次のとおり確認されました。

- (1) 行政区については、現行のとおりとする。
- (2) 行政協力員については、現行の行政町内会単位を基本とし、合併時に大館市の制度に統一する。ただし、職務内容については、田代町の制度に統一する。

#### 協議案第34号 商工・観光関係事業の取扱い

第8回協議会で次のとおり確認されました。

- (1) 空店舗対策補助事業については、合併時に大館市の制度に統一する。ただし、合併前に比内町において実施済の商店街等活性化事業については、現行の取扱いを継続する。
- (2) 中小企業事業資金融資あっせん制度については、合併時に大館市の制度に統一する。
- (3) 中小企業融資あっせん資金保証料補給制度については、合併時に大館市の制度に統一する。
- (4) 工業団地については、現行のとおり新市に引き継ぐ。
- (5) 工場等設置促進条例による奨励措置については、合併時に大館市の制度に統一する。ただし、合併前に指定した企業への優遇措置については、現行の取扱いを継続する。
- (6) 観光施設については、現行のとおり新市に引き継ぐ。
- (7) 観光イベントについては、現行のとおり新市に引き継ぐ。

#### 協議案第35号 小・中学校の通学区の取扱い

第8回協議会で次のとおり確認されました。

- 小・中学校の通学区域については、現行のとおりとし、地域要望等により、必要に応じて新市において調整する。

#### 協議案第36号 一部事務組合等の取扱い

第9回協議会で次のとおり確認されました。

- (1) 一部事務組合のうち、大館周辺広域市町村圏組合については、合併の日の前日をもって解

平成16年  
11月下旬 合併協定項目の調印  
12月 各市町議会で合併に関する議決  
平成17年  
2月3月 県議会で合併に関する議決  
4月 総務大臣告示  
6月 比内町、田代町の閉庁式  
6月20日 新市誕生

**継続協議 協議案20号 使用料・手数料等の取扱いについて（継続協議）**  
焦点となっていた保育料について、1市2町の児童実態調べ、保育料収入見込み額比較表などの追加資料が提出されました。それによると、新市では国庫負担金の一般財源化に伴い、保育料を現行どおりとしても一般財源からかなりの支出増が見込まれることが明らかになりました。また、新市の保育料の水準をどこに置けば、どの程度、一般財源からの支出が増加するのか、その試算値についても説明がありました。  
試算は、保育料を①国の基準の70%、②比内町の現行水準（国の基準の70%）、③田代町の現

行水準（国の基準の60%）に設定した場合の3とおりについて行われました。  
これらの数値を踏まえて白熱した議論が展開されましたが結論は出ず、再度継続協議となりました。  
主な意見  
・1市2町の幼児3864人のうち、認可保育園の園児は953人しかない。これでは保育料を下げて、恩恵を受ける住民の割合は小さく、公平感を保てない。保育料の値下げだけに焦点を当てず、少子化対策のあらゆる部分を考慮してはどうか。  
・田代町では現状維持をしたいとの声が圧倒的だった。田代町では出産祝金の支給、医療費補助、学校給食の補助、ランドセルの支給な





- 散し、合併の日に事務及び財産並びに一般職の職員をすべて新市に引き継ぐ。
- 比内町及び田代町は、秋田県市町村総合事務組合並びに秋田県市町村会館管理組合を合併の日の前日をもって脱退する。
- (2) 大館市土地開発公社については、現行のとおりに存続する。
- 比内町及び田代町は、合併前に秋田県町村土地開発公社から脱退する。
- (3) 比内町及び田代町は公平委員会の事務の委託を、合併の日の前日をもって廃止する。
- (4) 第三セクター等については、現行のとおりに合併の日に新市に引き継ぐ。

#### 協議案第37号 保健衛生事業の取扱い

第9回協議会で次のとおり確認されました。

- (1) 母子保健事業については、合併時に大館市の制度に統一する。ただし、妊婦健康診査については、合併時までには再編する。また、健康診査の実施会場については、地域の実情を考慮して決定する。
- (2) 予防接種事業については、合併時に大館市の制度に統一する。
- (3) 基本健診・各種検診事業については、合併時に大館市の制度に統一する。
- ただし、実施体制、方法については、地域の実情を考慮して決定する。

#### 協議案第38号 休日、夜間、救急診療の取扱い

第9回協議会で次のとおり確認されました。

- (1) 休日夜間急患センター運営事業については、合併時に統合する。
- (2) 在宅当番・救急医療情報提供実施事業については、現行のとおりに、大館市の制度を適用する。

#### 協議案第39号 健康づくり事業の取扱い

第9回協議会で次のとおり確認されました。

- (1) 健康教育及び健康相談については、合併時に大館市の制度に統一する。ただし、対象者等については、合併時までには決定する。
- (2) 市町村健康増進計画については、合併後に再編する。

#### 協議案第40号 建設関係事業の取扱い

第9回協議会で次のとおり確認されました。

- (1) 市町道については、現行のとおりに新市に引き継ぐものとし、市道の認定基準については、大館市の基準に統一する。
- (2) 除雪体制については、現行のとおりに新市に引き継ぐものとし、除雪計画については、合併後に策定する。
- (3) 道路占用料については、合併時に現行の大館市の額に統一する。
- (4) 公営住宅等については、現行のとおりに新市に引き継ぐ。
- (5) 都市計画については、現行のとおりに新市に引き継ぐ。都市計画マスタープランについては、現計画を基本に新市において新たに策定することとし、新計画が策定されるまでの間は、現計画を運用する。

どをしているが、これらの制度が今後継続されるのかどうか分らない中で、更に保育料が上がることは抵抗感がある。保育料の軽減だけでなく、乳幼児に対する母子保健事業や予防接種事業、親が子育てするときの相談体制、乳幼児の医療費の軽減、子どもたちの放課後、週末の活動の場づくりなど、全体を通して包括的に少子化対策を進めていきたい。

子どもは地域の宝で日本国家の宝でもある。財政を考えるのは当然であるが、うまくやりくりをして、少子化対策に重点的に予算を配



分できないか。議論は尽きないので、新市で真剣に議論することとして、当面は保育料を現状どおりとしてはどうか。

確認 協議案22号・町名字名の取扱いについて(継続協議)

第7回協議会において、大館市と比内町の町名・字名については合意されていましたが、田代町については、異議が出され、継続協議となっていました。

第9回協議会では、第7回協議会以降に田代町で進められてきた調整の結果を受けた案が提案され、原案どおり確認されました。

その結果、大館市と田代町の町名、字名は現行どおり変わらず、比内町は現行の大字に「比内町」という字句が追加されることで確認されました。(5ページ参照)

確認 協議案32号・介護保険事業の取扱いについて(継続協議)

継続協議となっていた介護保険要介護認定訪問調査については、第8回協議会に提案された

「合併時に大館市の制度に統一する」のではなく、「平成19年度から大館市の制度に統一する」という経過措置を設ける案が協議会に提案され、確認されました。

確認 協議案36号・一部事務組合等の取扱いについて

原案どおり確認されました。

確認 協議案37号・保健衛生事業の取扱いについて

保健衛生事業については原案どおり確認されましたが、小笠原委員と高坂委員から骨粗しょう症健診の受診年齢等について質疑が出されました。

確認 協議案38号・休日、夜間、救急診療の取扱いについて

原案どおり確認されました。

確認 協議案39号・健康づくり事業の取扱いについて

原案どおり確認されました。

確認 協議案40号・建設関係事業の取扱いについて

原案どおり確認されました。

## 新しい住所が決まりました

第9回合併協議会において、新市の町名、字名が確認されたため、平成17年6月20日より、住所は別表のとおりとなります。

大字名になります。田代町の区域では、大字、小字ともに現行どおりであるため、市町村名のみ変わることになります。

	市町村名	町名、大字名	小字名
大館市の区域	現 行 ど お	現行どおり	現 行 ど お
比内町の区域	大 館 市	現行の大字の前に「比内町」の字句を加える	現 行 ど お
田代町の区域	大 館 市	現行どおり	現 行 ど お

	合 併 前	合 併 後
新 市 名 称 大 館 市	大館市の区域 大館市御成町 丁目 番 号 大館市字中城 番地 大館市十二所字上川代 番地 大館市花岡町字堂屋敷 番地	大館市御成町 丁目 番 号 大館市字中城 番地 大館市十二所字上川代 番地 大館市花岡町字堂屋敷 番地
	比内町の区域 北秋田郡比内町扇田字上中島 番地 北秋田郡比内町独鈷字沢村 番地 北秋田郡比内町谷地中字大巻 番地 北秋田郡比内町大葛字大葛家後 番地	大館市比内町扇田字上中島 番地 大館市比内町独鈷字沢村 番地 大館市比内町谷地中字大巻 番地 大館市比内町大葛字大葛家後 番地
	田代町の区域 北秋田郡田代町早口字深沢岱 番地 北秋田郡田代町岩瀬字大柳 番地 北秋田郡田代町山田字山田 番地 北秋田郡田代町外川原字上屋布 番地 北秋田郡田代町長坂字屋敷 番地 北秋田郡田代町山瀬字赤川 番地	大館市早口字深沢岱 番地 大館市岩瀬字大柳 番地 大館市山田字山田 番地 大館市外川原字上屋布 番地 大館市長坂字屋敷 番地 大館市山瀬字赤川 番地

## 第8回合併協議会

報告・協議案件

平成16年8月24日

## 協議案 第18号

新市建設計画について

(継続協議)

## 協議案 第20号

使用料、手数料等の取扱いについて

(継続協議)

## 協議案 第21号

補助金、交付金等の取扱いについて

(確認)

## 協議案 第30号

合併の期日について

(確認)

## 協議案 第31号

公共的団体等の取扱いについて

(確認)

## 協議案 第32号

介護保険事業の取扱いについて

(継続協議)

## 協議案 第33号

行政区の取扱いについて

(確認)

## 協議案 第34号

商工・観光関係事業の取扱いについて

(確認)

## 協議案 第35号

小、中学校の通学区の取扱いについて

(確認)

協議会資料は全て公開されており、合併協議会のホームページで閲覧できます。  
<http://oh-t-gappei.jp>

## 第9回合併協議会

報告・協議案件

平成16年9月14日

## 報告 第13号

大館市・比内町・田代町合併協議会スケジュールについて

## 協議案 第18号

新市建設計画について

(継続協議)

## 協議案 第20号

使用料、手数料等の取扱いについて

(継続協議)

## 協議案 第22号

町名、字名の取扱いについて

(確認)

## 協議案 第32号

介護保険事業の取扱いについて

(確認)

## 協議案 第36号

一部事務組合等の取扱いについて

(確認)

## 協議案 第37号

保健衛生事業の取扱いについて

(確認)

## 協議案 第38号

休日、夜間、救急診療の取扱いについて

(確認)

## 協議案 第39号

健康づくり事業の取扱いについて

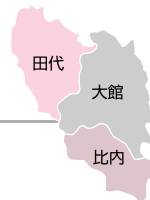
(確認)

## 協議案 第40号

建設関係事業の取扱いについて

(確認)





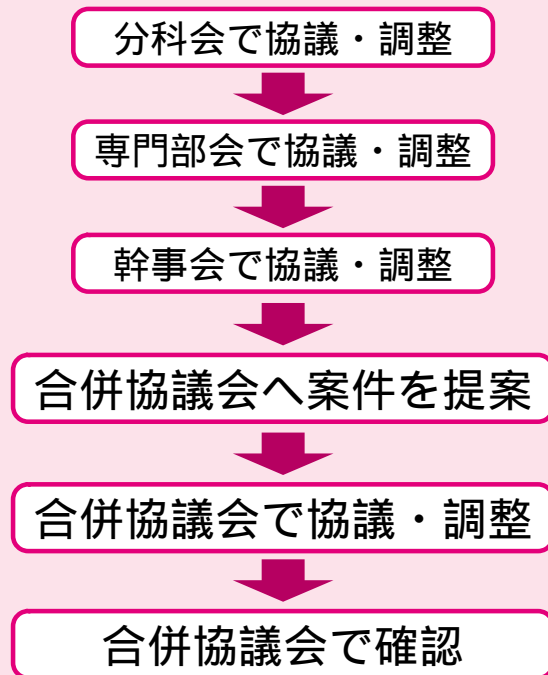
## 合併協定項目の調整状況

平成16年9月14日現在

分類	No	設 定 項 目	提 案	調 整 状 況
A 群	1	合併の方式		確認(4/9第2回協議会)
	2	合併の期日		確認(4/9第2回協議会) 確認(8/24第8回協議会) 法律が改正されたため再協議
	3	新市の名称		確認(4/9第2回協議会)
	4	新市の事務所の位置		確認(4/9第2回協議会)
B 群	5	財産の取扱い		
	6	事務組織及び機構の取扱い (本庁組織、出先機関、 附属機関、地域審議会)		
	7	農業委員会の委員の定数 及び任期の取扱い		確認(5/17第4回協議会)
C 群	8	地方税の取扱い		確認(8/2第7回協議会)
	9	一般職の職員の身分の取扱い		
	10	特別職の身分の取扱い		
D 群	11	条例、規則等の取扱い		確認(4/28第3回協議会)
	12	議会の議員の定数及び 任期の取扱い		確認(8/2第7回協議会)
	13	一部事務組合等の取扱い (一部事務組合、協議会、 公社、第三セクター)		確認(9/14第9回協議会)
E 群	14	使用料、手数料等の取扱い		継続協議
	15	公共的団体等の取扱い		確認(8/24第8回協議会)
	16	補助金、交付金等の取扱い		確認(8/24第8回協議会)
	17	町名、字名の取扱い		確認(9/14第9回協議会)
	18	慣行の取扱い (市章、花、木、歌、 憲章・宣言、行事)		確認(8/2第7回協議会)
F 群	19	国民健康保険事業の取扱い		確認(8/2第7回協議会)
	20	介護保険事業の取扱い		確認(9/14第9回協議会)
	21	消防団の取扱い		
	22	行政区の取扱い		確認(8/24第8回協議会)
G 群	23	各種事業の取扱い		
	1	男女共同参画事業		確認(8/2第7回協議会)
	2	国際交流事業等		確認(8/2第7回協議会)
	3	電算システム事業		確認(4/28第3回協議会)
	4	広報広聴関係事業		確認(8/2第7回協議会)
	5	納税関係事業		確認(8/2第7回協議会)
	6	消防防災関係事業		
	7	交通関係事業		
	8	窓口業務		
	9	保健衛生事業		確認(9/14第9回協議会)
	10	病院、診療所		
	11	休日、夜間、救急診療		確認(9/14第9回協議会)

分類	No	設 定 項 目	提 案	調 整 状 況
H 群	12	障害者福祉事業		
	13	高齢者福祉事業		
	14	児童福祉事業		
	15	保育事業		
	16	生活保護事業		確認(8/2第7回協議会)
	17	その他福祉事業		
I 群	18	健康づくり事業		確認(9/14第9回協議会)
	19	ごみ収集運搬業務		
	20	環境対策事業		
	21	農林水産関係事業		
	22	商工・観光関係事業		確認(8/24第8回協議会)
	23	建設関係事業		確認(9/14第9回協議会)
	24	上水道、下水道事業		
J 群	25	小、中学校の通学区		確認(8/24第8回協議会)
	26	学校教育事業		
	27	文化振興事業		
	28	コミュニティ施策		
	29	社会教育(生涯学習)事業		
	30	社会福祉協議会		
	31	その他の事業		
	24	新市建設計画		継続協議

合併協定項目の調整は次の順番で進められています。





# ハチとまねき鶏とタケノコ姫



🐾「郷土の偉人を紹介します。  
大館市では、江戸中期の思想家・安藤昌益、哲学者で京都帝国大学初代文科大学長を務めた狩野亨吉をはじめ、プロレタリア作家で小説『蟹工船』

などで知られる小林多喜二があげられます。狩野亨吉は安藤昌益を世に紹介したことで知られています。奇遇にも同郷だったわけです」「また、京都大学名誉教授で医学博士の鳥潟隆三、TYK式無線電話機発明者で工学博士の鳥潟右一、世界的な軽業師・鳥潟小三吉は『鳥潟三偉人』として、今にその名を残しています。政治家で労働大臣など歴任した石田博英、国民的歌手として一世を風靡した上原敏も大館出身です」「大館郷土博物館では先人顕彰コーナーを設けてそれぞれ紹介しています」



Q「比内町では、日本人初の国連職員となり、国連事務次長、国連カンボジア暫定統治機構（UNTAC）の事務総長特別代表などを務めた郷土出身の明石康氏

にちなんで『国連コーナー』を町役場1階ロビーに設けています。明石氏の紹介とともに国連活動や国際平和への理解を深めるための資料を展示しています」



比内町の「国連コーナー」



「田代町では、24年間にわたり秋田県知事を務めた小畑勇二郎の業績を後世に伝えようと『小畑勇二郎記念館』に数々の資料やコレクションを展示しています」

クションを展示しています」



▲ 小林多喜二の代表作  
「蟹工船」などの著書

▼ 安藤昌益の墓  
(大館市二井田の温泉寺)



小畑勇二郎の銅像



小畑勇二郎記念館

9  
2  
51

## 【数字でみる新市の姿】

1年間(平成15年)の観光客の数は、大館市約195万人、比内町約16万人、田代町約4万人で、計約215万人にのびります。大館市ではアメッコ市の約25万人をはじめ、豊富な温泉地に県内外から多数訪れています。比内町ではとりの市や大葛温泉、田代町では田代岳登山やタケノコ採りなどに人気があり、それぞれの特色がうかがえます。

年間  
**215万人**



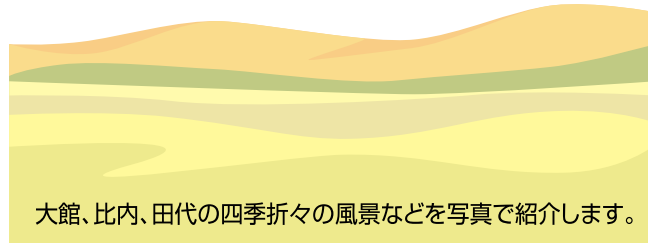


「朝霧の釈迦池」(大館市釈迦内)

●撮影/斎藤 義重さん(大館市片山一丁目)

# 連山一望

大館・比内・田代



大館、比内、田代の四季折々の風景などを写真で紹介します。



「秋の田代岳大橋」(田代町・山瀬ダム)

●撮影/金澤 巖さん(大館市有浦一丁目)



「トングリの収穫」(比内町東館地区で)

●提供/比内町総務課

## ホームページが公開されています。

協議会資料は全て公開されております。協議案、会議録、協議会日程、これまでの経過等、ホームページでご覧になれます。また、ご意見、ご提案をお寄せいただくこともできますのでご利用ください。

<http://oht-gappei.jp>

### お知らせ

## 第11回 大館市・比内町・田代町合併協議会

と き：平成16年10月12日(火) 午後1時30分～

ばしょ：田代町総合開発センター2階 集会室

合併協議会の会議はどなたでも傍聴できます。会議開始30分前から受付けしておりますので、直接会場へおいでください。都合により日時、場所等が変更になることもありますので、ホームページ等で最新の情報をご確認ください。

大館市・比内町・田代町合併協議会事務局

〒017-8555 秋田県大館市字中城20番地(大館市役所内)  
TEL.0186-49-3111(代) FAX.0186-43-9931  
info@oht-gappei.jp <http://oht-gappei.jp>